



フェアな価格 確かな信頼

# ローリーラック

## Lorry Rack

☆RIM LORRY RACK PRICE INTELLIGENCE DAILY

★NO. 4638 Jan 17 2018

Copyright (C) 2018 RIM Intelligence Co. All Rights Reserved.

東京時間2018年1月17日水曜日17時30分<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

### ◎お知らせ

#### ○新レポート 『GROSS VIEW(クロスビュー) 軽油』 創刊

リム情報開発株式会社は12月15日、新レポート 『GROSS VIEW(クロスビュー) 軽油』を創刊いたします。当社が得意とする価格取引情報と各種の統計データを組み合わせ、国内外の軽油マーケットを多面的に捉えようと試みたのがこのレポートです。1月以降、毎月5日号および20日号の計2回発行いたします。

<http://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/crossView/>

#### ◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

17日のレックス22は、前日から0.34ポイント下落し115.19です

#### -----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

ラインアップ:

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG
石油化学	ポリオレフィン	LNG
電力	デイリーデータ	Rim Data File

上記に関するお問い合わせはこちらまで

TEL 03-3552-2411

E-mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

東京時間2018年1月17日水曜日17時30分&lt;Assessment Closing Time&gt;

**◎東名阪製油所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)**

油種	千葉	中値	前日比	川崎	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン	62.2~62.7	62.45	+0.25	62.0~62.7	62.35	+0.25	62.40	+0.25
灯油	64.4~64.8	64.60	+0.70	64.2~64.8	64.50	+0.60	64.55	+0.65
課税軽油	61.0~61.5	61.25	+0.50	61.0~61.5	61.25	+0.50	61.25	+0.50
未課税軽油	61.8~62.5	62.15	+0.50	61.8~62.5	62.15	+0.50	62.15	+0.50
A重油	60.0~60.5	60.25	+0.70	60.0~60.5	60.25	+0.70	60.25	+0.70
LSA重油	60.5~61.0	60.75	+0.60	60.5~61.0	60.75	+0.60	60.75	+0.60

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	4リム中値	前日比
ガソリン	61.7~62.4	62.05	+0.10	62.1~62.5	62.30	0.00	62.29	+0.15
灯油	64.5~65.0	64.75	+0.75	64.5~64.9	64.70	+0.50	64.64	+0.64
課税軽油	61.2~61.8	61.50	+0.75	60.7~61.5	61.10	+0.20	61.28	+0.49
未課税軽油	61.7~62.7	62.20	+0.45	62.0~62.4	62.20	+0.50	62.18	+0.49
A重油	60.3~60.7	60.50	+0.75	60.2~60.5	60.35	+0.45	60.34	+0.65
LSA重油	60.8~61.5	61.15	+0.90	60.7~61.2	60.95	+0.55	60.90	+0.66

**◎東名阪油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)**

油種	八潮	中値	前日比	横浜	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン	62.7~63.2	62.95	+0.50	62.0~62.5	62.25	+0.30	62.60	+0.40
灯油	65.0~65.5	65.25	+0.75	64.5~65.0	64.75	+0.25	65.00	+0.50
軽油	61.5~62.0	61.75	+0.60	61.5~62.0	61.75	+0.50	61.75	+0.55
A重油	61.0~61.5	61.25	+0.50	60.5~61.0	60.75	+0.50	61.00	+0.50
LSA重油	61.0~61.5	61.25	+0.50	61.0~61.5	61.25	+0.50	61.25	+0.50

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	油槽所中値	前日比
ガソリン	61.8~62.7	62.25	+0.15	61.9~62.5	62.20	+0.10	62.41	+0.26
灯油	65.0~65.3	65.15	+0.60	64.7~65.0	64.85	+0.60	65.00	+0.55
軽油	61.8~62.5	62.15	+0.05	61.5~62.5	62.00	+0.10	61.91	+0.31
A重油	60.4~61.2	60.80	+0.30	60.4~60.7	60.55	+0.45	60.84	+0.44
LSA重油	60.9~61.8	61.35	+0.35	60.9~61.4	61.15	+0.55	61.25	+0.47

※前日比は中値ベース

※製油所の京浜中値は千葉・川崎中値の単純平均値

※4リム中値は千葉・川崎・中京・阪神製油所の単純平均値

※油槽所の京浜中値は八潮・横浜中値の単純平均値

※油槽所中値は八潮・横浜・中京・阪神の単純平均値

※ローリーラック価格、輸入採算価格、海陸市況格差、先物のガソリンはレギュラーが対象で揮発油税53.8円を含まず

※軽油は軽油引取り税32.1円を含まず

※中値は小数点第3位を四捨五入

※原油輸入平均CIF価格の r は修正

※為替は三菱東京UFJ銀行が午前10時30分に発表する数値を使用

**◎東名阪製油所・油槽所出し中値平均値 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)**

油種	京浜地区	前日比	中京地区	前日比	阪神地区	前日比
ガソリン	62.50	+0.32	62.15	+0.12	62.25	+0.05
灯油	64.78	+0.58	64.95	+0.67	64.78	+0.55
軽油	61.72	+0.52	61.95	+0.42	61.77	+0.27
A重油	60.63	+0.60	60.65	+0.52	60.45	+0.45
LSA重油	61.00	+0.55	61.25	+0.62	61.05	+0.55

**◎その他の製油所・油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)**

油種	北海道	中値	前日比	仙台・塩釜	中値	前日比
ガソリン	63.2 ~ 63.7	63.45	+0.85	63.2 ~ 63.5	63.35	+0.50
灯油	64.8 ~ 65.5	65.15	+0.55	65.0 ~ 65.5	65.25	+0.80
軽油	61.8 ~ 62.8	62.30	+0.40	61.5 ~ 62.5	62.00	+0.45
A重油	60.5 ~ 61.0	60.75	+1.00	60.2 ~ 60.5	60.35	+0.20
LSA重油	61.0 ~ 61.5	61.25	+1.00	60.7 ~ 61.0	60.85	+0.20

油種	四国	中値	前日比	福岡	中値	前日比
ガソリン	62.4 ~ 62.7	62.55	+0.25	63.0 ~ 63.2	63.10	+0.45
灯油	64.5 ~ 64.8	64.65	+0.70	65.7 ~ 66.2	65.95	+0.70
軽油	61.1 ~ 62.1	61.60	+0.30	62.5 ~ 62.8	62.65	+0.40
A重油	60.2 ~ 60.5	60.35	+0.75	61.2 ~ 62.1	61.65	+0.65
LSA重油	60.7 ~ 61.2	60.95	+0.80	61.7 ~ 62.6	62.15	+0.45

**◎SS向けスポット卸市況 (円/リットル、ローリー届け、1.0~1.5円運賃圏)**

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
ガソリン	116.3 ~ 117.3	+0.3	116.5 ~ 117.5	0.0	116.0 ~ 117.0	0.0
灯油	64.8 ~ 65.8	+0.3	65.0 ~ 66.0	+0.5	64.5 ~ 65.5	0.0
軽油	94.5 ~ 95.5	+0.5	95.0 ~ 95.5	+0.8	94.0 ~ 95.0	0.0

**◎ユーザー向け産業燃料油市況 (円/リットル、ローリー届け、1.5円以下運賃圏、大口向け、1月分)**

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
灯油	65.0 ~ 66.0	0.0	64.5 ~ 65.5	0.0	64.5 ~ 65.5	0.0
軽油	93.5 ~ 94.5	0.0	93.0 ~ 94.0	0.0	93.5 ~ 94.5	0.0
A重油	58.5 ~ 59.5	0.0	58.0 ~ 59.0	0.0	59.0 ~ 60.0	0.0
LSA重油	59.0 ~ 60.0	0.0	58.5 ~ 59.5	0.0	59.5 ~ 60.5	0.0

※前日比は中値ベース

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の京浜地区は製油所の京浜中値と油槽所の京浜中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の中京地区は製油所の中京中値と油槽所の中京中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の阪神地区は製油所の阪神中値と油槽所の阪神中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の軽油は製油所の課税、未課税、油槽所の単純平均値

※SS向けスポット卸市況およびユーザー向け産業燃料油市況は揮発油税・軽油引取り税を含む

※中値は小数点第3位を四捨五入

**◎東商取バージ先物(東京湾岸製油所・油槽所出しバージ取り、円/リットル)**

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高	
2月限	60.23	60.32	60.14	60.21	-0.48	56	
3月限	60.08	60.22	60.05	60.17	-0.43	90	
4月限	60.37	60.51	60.32	60.46	-0.40	109	
5月限	60.68	60.80	60.61	60.75	-0.55	189	
6月限	61.01	61.03	60.86	61.01	-0.50	259	
7月限	61.05	61.20	60.99	61.15	-0.50	566	
合計						1,269	
灯油							
2月限	63.58	63.85	63.55	63.81	-0.27	130	
3月限	63.17	63.41	63.14	63.40	-0.31	55	
4月限	62.23	62.31	62.08	62.31	-0.40	76	
5月限	60.95	61.05	60.83	61.04	-0.46	34	
6月限	60.17	60.20	59.97	60.20	-0.36	92	
7月限	59.85	59.94	59.74	59.83	-0.50	245	
合計						632	
軽油							
2月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
3月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
4月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
5月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
6月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
7月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
合計						-	
原油							
1月限	46.40	46.40	46.24	46.30	-0.38	62	
2月限	45.85	45.94	45.75	45.90	-0.60	87	取組高 (1/16)
3月限	45.63	45.77	45.57	45.75	-0.52	151	ガソリン 売 10,927 買 10,927
4月限	45.34	45.49	45.28	45.43	-0.52	416	灯油 売 8,762 買 8,762
5月限	45.07	45.25	45.06	45.17	-0.55	9,961	軽油 売 0 買 0
6月限	44.86	45.00	44.81	44.97	-0.51	12,083	原油 売 108,452 買 108,452
合計						22,760	1枚=50kl

**◎東商取中京ローリー先物(潮見および飛島油槽所出しローリー取り、円/リットル)**

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高	
2月限	61.00	61.29	61.00	61.29	-0.31	57	
3月限	-	-	-	61.00	0.00	-	
4月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
5月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
6月限	-	-	-	60.50	0.00	-	
7月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
合計						57	
灯油							
2月限	65.50	65.50	65.00	65.00	-0.20	24	
3月限	64.90	64.90	64.01	64.01	-0.23	2	
4月限	-	-	-	60.00	0.00	-	
5月限	-	-	-	60.00	0.00	-	取組高 (1/16)
6月限	-	-	-	60.00	0.00	-	ガソリン 売 877 買 877
7月限	-	-	-	60.00	0.00	-	灯油 売 468 買 468
合計						26	1枚=10kl

**◎輸入採算価格 (SR船型、韓国出し、関税・石油石炭税込、円/kl)**

	北海道	前日比	京浜	前日比	中京	前日比	関門	前日比
ガソリン	60,646	-632	60,436	-631	60,226	-630	59,945	-630
灯油	64,226	-826	64,015	-826	63,805	-825	63,525	-823
軽油	64,174	-649	63,964	-648	63,754	-646	63,474	-645
A重油	58,243	-638	58,033	-637	57,823	-636	57,542	-635

※SR船型による輸入、A重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm

※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況(ペーパー)をベース

**◎海陸市況格差 (陸上4製油所平均-海上バージ市況)**

ガソリン	-1.26	灯油	-0.91	未課税軽油	-0.82
A重油	+0.94	LSA重油	+1.35		

※4製油所平均=千葉、川崎、中京、阪神

**◎指標原油**

WTI (NYMEX 2月限, \$/bbl, 1/16 close)	63.73	-0.57
WTI (NYMEX ACCESS 2月限, \$/bbl, 1/17 5:00pm 東京時間)	63.80	+0.07
ドバイ (ペーパーズワップ, \$/bbl, 1/17 東京夕刻)	66.40 ~ 66.44	-0.81
ドバイ (ペーパーズワップ, 円/kl, 1/17 東京夕刻)	46,524	-771
ドバイ (ペーパーズワップ, 円/kl, 1/11~1/17平均)	46,977	-171
ドバイ (ペーパーズワップ, 円/kl, 1/3~1/9平均)	46,964	+91
東商取ドバイ原油当限 (円/kl, 1/17 引け)	46,300	-380

**◎原油輸入平均CIF価格 (JCC、円/kl、財務省)**

17/10/01-31 38,748r	17/11/01-30 41,187r	17/12/01-31 1月24日発表予定
17/10/01-10 37,946	17/11/01-10 40,456	17/12/01-10 42,974
17/10/11-20 38,894	17/11/11-20 41,257	17/12/11-20 44,074
17/10/21-31 39,274	17/11/21-30 41,858	17/12/21-31 1月24日発表予定

**◎Rim JCC予想値 (円/kl)**

17/12月	43,860 ±0	18/1月	45,300 ±0	18/2月	47,010 -250
--------	-----------	-------	-----------	-------	-------------

**○レポートのメール送信元のアドレス変更について**

12月11日(月)からレポート送信時のメール差出人のアドレスを以下のとおり変更します。

変更前 [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

変更後 [rimreport@rim-intelligence.co.jp](mailto:rimreport@rim-intelligence.co.jp)

メールのフィルター機能で仕分けを設定されている場合は、あらかじめ設定変更などのご対応をお願いします。

**○1月のアセスメント評価対象について**

2018年1月の最終日は通常通り翌日の受渡物を評価対象とし、2~7日先までの受渡物が参考となります。

**◎概況・トッパー停止状況=0基、停止率0.0%**
**○陸上ローリー市況**

17日の東名阪4製油所出しは中間留分の上げが目についた。JXTGエネルギーや出光興産、昭和シェル石油が揃って仕切り価格を引き上げたため、卸業者間で応分のコスト転嫁が済められた。特に需要期の灯油や重油は0.6円超の上げ。一方、ガソリンは年末年始のかき入れ時が一巡したため、

市場関係者間では積極的な買い気がいまひとつとされ、上げ幅は限られた。価格改定のタイムラグでコスモ石油マーケティング玉を織り込んだ安値玉に関心が集まったと伝える市場参加者も見受けられた。

地方二次基地出しは、北海道、東北、四国、福岡ともに出し元の値上げを織り込み、総じて0.5円超の底上げとなった。

元売り関連では、JXTGエネは第4週の18～24日に適用する系列向け基準価格を全油種で前週から0.5円引き上げた。複数の市場関係者によると、インタンク向けガソリン価格は116.8円と伝えられた。出光も同様に全油種0.5円の上げ。一方、昭和シェルはガソリンを前週から0.5円、中間留分は1円の上げを関係各社に通知した。

## ○ドバイ原油市況

ドバイ原油価格は東京時間の17日夕刻時点で前日比81セント安の66.40～66.44ドル。これを基にした製品コストは同比0.8円安の50.2円と試算される。足元の原油、為替水準で推移した場合、2月の国内製品コスト推定値は12月26日～1月25日算定で1月平均値の47.4円より約3円高い50.4円となる見込み。17日のコストが低下したにも拘わらず2月の推定コストが増加するのは、12月26日以降の原油相場がそれ以前と比較し総じて高値圏で推移する影響が大きい。なお原油コストが足元から同水準で推移する前提で試算した週間コストは16～22日分が前週比0.4円安の50.4円になりそうだ。一方、17日の製品輸入コストは前日と比較しすべての油種で下落している。

## ○元売り市中調達

17日の調達は東西で表面化しなかった。元売り各社は様子見に退いたようだ。

## ○在庫

石油連盟がまとめた13日時点の在庫状況を見ると、全国ベースでガソリンは前年比2.6%減の181万8,753kl、灯油は同6.9%減の200万8,565kl、軽油は同6.9%減の174万2,520kl。

## ◎北海道(苫小牧・石狩)

### ○概況

スポット流通玉市況は全油種底上げされた。18日から適用される複数元売りの週次仕切りが引き上げされたため、多くの卸業者がコスト転嫁を優先して周囲の反応を窺った。しかし、値上げ直後であることや、17日渡しまでに発生していた仮需めいたオーダーの反動減により、取引は閑散としていた。気配探りが先行しており、本格的な商談は19日渡しからとなりそうだ。

札幌の16時までの最高気温は1.1度、最低気温はマイナス2.1度。9時時点の積雪は42センチ。

## ○ガソリン

63.2～63.7円（揮発油税込み117.0～117.5円）  
と前日比0.85円高。

18日渡しからの各社の売唱えは、苫小牧出しを中心に在庫玉、民族系元売り玉を扱う卸業

者が117.0~117.5円など、117円台前半。石狩渡しは0.5円前後高。元売り各社の18日から適用される週次改定は0.5円の引き上げであったが、卸業者の多くは0.5円以上コスト転嫁する動きが目立った。これらの背景にはここ数年で需要の系列回帰が進んだため、手

持ちを多く抱えている卸業者が多くないことも影響しているようだ。しかし、24日期限での系列仕切りでは117円前後の仕上がりとなるディーラーが多いため、スポット玉を割高と見る市場関係者がほとんど。取引はほとんど進んでいない。

## ○灯油

64.8~65.5円と前日比0.55円高。

在庫玉、および民族系元売り玉を扱う卸業者の売唱えは、18日渡しから苦小牧出しで64.8~65.3円など、65.0円中心。もしくは65円以上。石狩出しは苦小牧比0.5円前後高い。24日期限の系列仕切りでは65円前後の仕上がりとなるディーラーが多いため、スポット

玉は系列対比で同等、割高と見ている市場関係者が多い。しかし、慢性的に配送が滞るため、配送を優先してスポット調達に動くケースも出ている。ただし、18日渡しの取引は閑散。届け取引の実勢の把握に努める業者も多く、気配値が先行していた。

## ○軽油

61.8~62.8円と前日比0.4円高。

民族系元売り玉を扱う卸業者を中心に、18日渡しからの売唱えは課税玉が61.8~62.0円。未課税玉が62.5~62.8円。卸業者の多くがマージンを値取りを優先したことを映し

た。石狩出しは苦小牧比0.5円前後高。しかし、道央圏の届け取引の実勢が見えないこともあり、EXパイプの取引は気配探りが先行し、商談はほとんど動いていなかった。

## ○重油

A重油は60.5~61.0円と前日比1.0円高。

A重油は民族系元売り玉を扱う卸業者が苦小牧出しで60.5~60.8円、もしくは61円前後。石狩渡しとLSA重油は苦小牧比0.5円前後高が主流。外資系元売り玉は24日期限で62.0円

前後と、一段高に位置しており、買付け対象となっていない。ガソリンと同様に元売りの週次改定に比べて、値取りを優先する流れが目立った。各卸業者が手持ちを月次で多く抱えていない可能性がある。

## ◎東北（仙台、塩釜）

### ○概況

仙台、塩釜のスポット相場は、全面高。基準価格をはじめ仕切り価格の引き上げに伴い、卸業者間では応分のコスト転嫁に動いた。一方、18日の配送は17日の日延べ分が多く、値上げ直後だけに新規のオーダーは少ないという。ただ、配車難から商談が進まない状態が続いており、油種によっては手持ちを抱え、販売不振を指摘する声も出ている。

### ○ガソリン

63.2~63.5円（揮発油税込み117.0~117.3円）で前日から0.5円高となった。

基準価格の引き上げを受けて、卸業者間では0.5円の値上げが目立った。仙台では、大

手ディーラーが117円を提示。地場ディーラーは117.2円、広域ディーラーは117.3円など狭いレンジ内に唱えが集まっている。ただ、販売そのものは配車の手当てが難しい状態が続いており、進んでいないという。一方で、届け玉では17日分まで製油所出しに換算して116円の出物が伝えられた。これが応分に

引き上げられても116.5円など、製油所玉を下回る状態は解消しにくい。

青森、八戸では、広域ディーラーの中には小幅な上げに留めるところもあり、下旬に向けての売りが意識されている。複数玉を組み立てて117.4円など117円台半ばの出物が18日以降も出ている。

## ○灯油

65.0～65.5円で前日から0.8円高に続伸。

18日からの仙台では、地場ディーラーが65.0円を提示。広域ディーラーの複数は65.3円、民族系最大手元売玉の扱い業者は65.5円と、65円台前半から半ばの唱えが目立った。大手のディーラーほど65円台半ば以上の価格を提示しており、先週、冷え込みに伴い西日本で需要が強かったこともあって手持ち枠が少ないという。ただ、値上げ直後で65円

台後半まで食指を伸ばす向きは少ないという。

青森、八戸では、地場ディーラーが65.9円など、18日以降は66円前後に唱えが切り上がった。広域ディーラーの一角が66円台半ば。一方、一部で65円の出物も伝えられており、マーケットの圧迫要因として指摘された。ただ、具体的な出し元は不詳。

## ○軽油

61.5～62.5円で前日から0.45円高に上伸。

課税玉は、仙台で広域ディーラーが61.5円で61円台半ばを提示。一方、地場ディーラーは61.8円と、前日から横ばいを提示する向きもあった。灯油の引き合いが多い半面、軽油については消化の遅れが指摘されている。一

方、届け玉では17日分までだが、製油所換算で60円台後半の出物も伝えられた。未課税玉では、民族系最大手元売玉の扱い業者をはじめ、多くのディーラーが62.5円。大手ディーラーは62.7円だが、62円台半ばの唱えが多い中では割高に映るようだ。

## ○重油

A重油は60.2～60.5円、LSA重油は60.7～61.0円と、それぞれ前日から0.2円高となった。

仙台では、広域ディーラーが60.2円、地場ディーラーは60.4円など、仕切り価格である0.5円の上げに届かない価格もあった。重油は白油以上に配車が確保しづらいため、消化

が進んでいない向きも一部にはいうようだ。広域ディーラーの複数は、60.5円の提示。商社系ディーラーなど61円前後の出物も見受けられるが、60円台前半で複数筋から手当てが可能の中で割高感是否めない。LSA重油との格差は0.5円変わらず。

## ◎京浜

### ○概況

スポット流通玉市況は製油所出し、油槽所出しともに底上げされた。18日から適用される複数元

売りの週次仕切りが引き上げられたため、多くの卸業者が値上げし、周囲の反応を窺っていた。しかし、値上げ直後で17日までの仮需めいたオーダーの反動減により、業者間の取引は精彩を欠き、気配探りが先行していた。また、先週末からの為替の円高推移や原油市況、先物相場が軟調であったことも様子見する材料となったようだ。

## ○ガソリン

製油所出しは千葉が前日比0.25円高の62.2～62.7円（揮発油税込み116.0～116.5円）、川崎が同0.25円高の62.0～62.7円（同115.8～116.5円）へ上昇。油槽所出しは東京・埼玉が前日比0.5円高の62.7～63.2円（同116.5～117.0円）、横浜が同0.3円高の62.0～62.5円（同115.8～116.3円）といずれも切り上がった。

製油所出し、油槽所出しともに卸業者各社が値上げに踏み切ったため、相場は底上げされた。しかし、24日期限での系列仕切り価格との対比でスポット玉は小幅安、同等と見る市場関係者が多く、買い気の強さに欠ける商況となっている。

製油所出しでは、中堅元売り玉を扱う複数が18～19日期限で川崎出しで115.8～116.2円、116.2円以上。千葉出しは川崎比0.2円前後高の売唱えが主流。外資系元売り玉、民族系元売り玉を扱う複数は19日期限で116.2～116.5円、116.5円以上と小幅ながら、多くがコスト転嫁に動いていた。旧米メジャー系元売り玉を扱う卸業者の売唱えは大きく二分。116.0～116.5円と17日比で据え置くディーラーがいる一方、116.5～117.0円など、コスト転嫁に踏み切ったディーラーと対応が分かれた。24日期限の系列仕切りでは116.5円

前後までの仕上がりは一般的であるため、116.5円を超えると業者間の取引が進まないと多くが口を揃えた。一方、TOCOM現物市場では、川崎出しで117.0円の取引が成立していた。受渡は1月中条件だった。



油槽所出しは東京・埼玉は広域、地場ディーラーによる18日渡しからの売唱えは116.5～117.0円など、116円台後半が主流。横浜は先物玉を原資として複数が115.8～116.3円など、116.0円中心に複数がオファーを受けていた。

SS届けベースのノンブランド・ガソリン卸市況は、1.0～1.5円運賃圏で116.3～117.3円へ上昇。

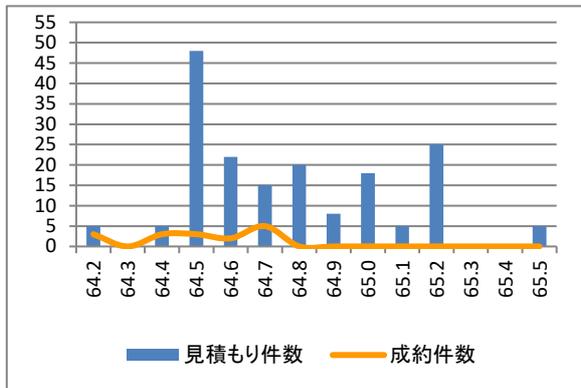
東商取2月限の帳入値は前日比0.48円安の60.21円（揮発油税込み114.01円）。また、京浜の海上市況は63.9～64.9円（同117.4～118.4円）となった。

## ○灯油

製油所出しは千葉が前日比0.7円高の64.4～64.8円、川崎が同0.6円高の64.2～64.8円へ切り上がった。油槽所出しは東京・埼玉が前日比0.75円高の65.0～65.5円、横浜が同0.25円高の64.5～65.0円へ上昇した。

製油所出し、油槽所出しともに相場は切り上がったが、全般的に業者間の探り合いが先行しことや、値上げ直後でもあったため、取引は精彩を欠いた。また、先物価格の反落も影響した。

製油所出しでは、中堅元売り玉、外資系元売り玉を扱う複数の売唱えは19日期限で64.4~64.8円、65.0円以上と対応が分かれた。このうち、川崎出しでは複数の64.2円までの取引、もしくはオファーを受けていた。民族系元売り玉、民族系最大手の鹿島出荷玉を扱う複数の売唱えは64.5~64.8円、65円以上。



旧米メジャー系元売り玉を扱う複数の64.5~64.7円、65.2~65.5円など、ガソリンと同

様に17日比で価格を据え置くディーラーがいた一方で、値上げに踏み切ったディーラーがあり、方向感を欠いた。いずれの出し元玉で、64.8円を超える水準で業者間で取引が交わされている様子がなかった。24日期限の系列仕切りでは65.0円前後の仕上がりが一般的であることが背景にあるようだ。

油槽所出しは、東京・埼玉は広域、地場ディーラーによる18日渡しからの売唱えは65.0~65.5円など、65円台前半中心。横浜は先物玉を原資に複数の64.5~65.0円でオファーを受けていたが、売買が交わされている様子はなかった。

東商取2月限の帳入値は前日比0.27円安の63.81円。また、京浜の海上市況は65.5~66.5円となった。

## ○軽油

製油所出しは前日比0.5円高となり、課税玉が61.0~61.5円、未課税玉が61.8~62.5円へそれぞれ上昇した。油槽所出しは東京・埼玉、横浜ともに61.5~62.0円へ切り上がった。東京・埼玉が前日比0.6円高、横浜が同0.5円高となった。依然として、業者間の取引は動意薄で、多くの卸業者は値上げをしつつ反応を探っているケースが多い。

製油所出しの課税玉は、18~19日期限で外資系元売り玉、中堅元売り玉を扱う複数の売唱えは61.0~61.5円、61.5円以上。民族系元売り玉、旧米メジャー系元売り玉、民族系最大手出荷玉を扱う卸業者の売唱えは61.5~62.0円、もしくは62.5~63.0円。外資系元売り玉、中堅元売り玉と比べて一段高で買付け

対象となっていない。

未課税玉は外資系元売り玉、中堅元売り玉を扱う複数ディーラーは18~19日期限で61.8~62.2円など、62.0円中心の売唱えを維持。旧米メジャー系元売り玉を扱う卸業者の売唱えは62.2~62.7円など、62.5円前後。

油槽所出しは、東京・埼玉は広域、地場ディーラーの売唱えは61.5~62.0円。このうち、未課税玉は62.0円までの玉が一般的に入手可能だ。横浜は課税玉で61.5~62.0円のオファーを複数の受けていたが、業者間で取引を進めてい様子はなかった。

東商取2月限の帳入値は、前日から横ばいの60.0円。京浜の海上市況は62.5~63.5円。

## ○重油

LSA重油の製油所出しは60.5~61.0円と前日比0.6円高。油槽所出しは東京・埼玉、

横浜ともに前日比0.5円高の61.0~61.5円へ切り上がった。

製油所出し、油槽所出しともに 17 日期限内で取引相場に変化はなかった。ディーラーによっては先高を視野に入れ、17 日渡しを値上げで反応を窺うディーラーも散見された。

製油所出しでは、外資系元売り玉、中堅元売り玉、民族系元売り玉を扱う卸業者の売唱えは 60.5~61.0 円など、60 円後半に集

中。旧米メジャー系元売り玉を扱う複数の売唱えは 60.5 円前後、もしくは 61 円前後と対応は二分。A 重油の各社の売唱えは LSA 重油比で 0.5 円前後安が主流。

油槽所出しは、広域、地場ディーラーによる売唱えは、東京・埼玉、横浜ともに 61.0~61.5 円で複数がオファーを受けていた。

### ◎中京

#### ○概況

製油所、9号地ともに底上げ。主要出し元の各社の仕切り上げを織り込み、卸業者間で応分の値上げとなった。ただ、ガソリンの上げは限定的。年末年始の需要期を終え、販売の伸び悩みを伝える声も市場関係者から寄せられた。中間留分は全体的に余剰感がなく、出し元の上げが浸透した。

#### ○ガソリン

製油所出しが前日比 0.1 円高の 61.7~62.4 円(揮発油税込み 115.5~116.2 円)、9号地も同 0.15 円高の 61.8~62.7 円(同 115.6~116.5 円)。

製油所、9号地ともに底上げ。主要出し元の仕切り上げを織り込み、値上げに動く卸業者が多かった。ただ、価格改定のタイムラグから一部で割安玉が残り、この日の上げ幅は限られた。

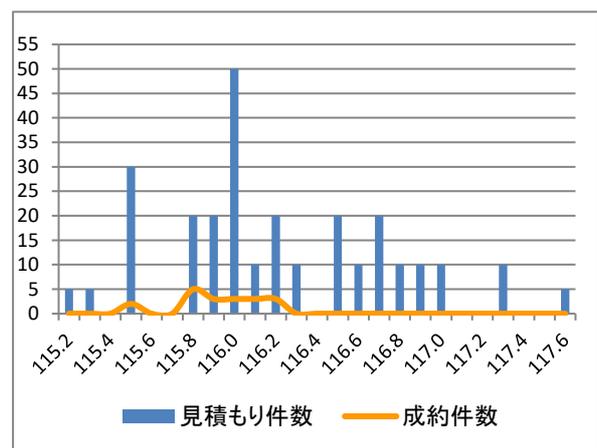
製油所出しでは、18日引取り分として、外資系元売り玉を取り扱う広域系卸業者から 115.8 円や 115.9 円、116~116.5 円の売唱えが広く伝わった。ただ、年末年始の需要期が一巡し、買い気の盛り上がりに限られる中で系列玉 116.3 円を超える売唱えに関心は薄く、買いアイデア含めて 116.2 円までを上限とする唱えも多かった。外資系元売り玉をベースとした月間枠も「割安玉はほとんどない」(広域系)という。

一方、価格改定のタイムラグを受け、民族系元売り玉を取り扱う広域系から 115.5 円の提示が残り、ボトム圏を形成した。市場関係者からは、115 円台前半の出物を指摘する声も寄せられたが、極めて限定玉とされ、拡販

された形跡はなかった。

月間平均をみると、月初を起点に当日中値が月末まで続くと仮定した場合、115.6 円相当に見積もられる。

地場小売り業者向けに提示された届け玉を見ると、EX 換算 115.8~116 円相当の提示が複数の広域系からなされたようだ。



9号地も底上げ。大手タンク業者は足元から 0.5 円引き上げ、116.5 円をベースに向け先で柔軟に対応したようだ。量販店向け 116 円で商談を進めた形跡もある。

広域系卸業者間では、商社系ターミナルや

丸中ターミナルを中心に115.6円や115.8円、116円、116.3円などの売唱えが広く伝えられ、市況を形成。製油所玉同様に116.5円の売唱えも複数見受けられたが、買い気はそこまで盛り上がりせず、成約を伝える市場参加者もいなかった。

東商取中京ローリー2月限は前日比0.31円安の61.29円(同115.09円)で日中取引を終え

た。出来高は570kl。

小売り動向では、津市内で看板130円台後半、実売135円前後の一般セルフ店が多いようだ。ただ、地区や店舗によっては看板で135円前後、実売131～133円の提示もみられ、しのごを削っている。年明け後に値上げ機運が一時広がったものの、最終的には腰砕けとなったという。

## ○灯油

製油所出しは前日比0.75円高の64.5～65.0円、9号地も同0.6円高の65.0～65.3円。

両センターともに底上げ。足元の気温はやや高めながら、週末以降は再び寒波の襲来が予想されており、卸業者間では慎重な販価設定が多かった。先週の寒波で北陸地区からの引き合いも急増し、広域系のなかには販売枠の消化が大幅に進んだところもあったようだ。石連がまとめた13日時点の在庫状況を見ると、愛知県や三重県を含めた東日本は前年比1.1%減の148万8,908kl。昨年12月中旬までは前年を15%前後上回っており、年末年始で一気に取り崩された格好だ。

製油所出しでは、18日引取り分として、外資系元売り玉をベースとする広域系卸業者から64.5円や64.8円の売唱えが複数寄せられ、ボトム圏を形成。63円台や64円台前半の売唱えはほぼ姿を消し、一定の底上げが図られた。一方、系列玉は65円が設定されており、65円を超える売唱えに対しては慎重な市場関係者も多かった。この日伝えられた成約最高値は民族系元売り玉を織り込んだ卸業者間の65円だった。

愛知方面でも、広域系中心に64.8円や65円の売唱えが複数から寄せられ、四日市玉と合わせて市況の一端を形成した。

9号地は底上げ。大手タンク業者がガソリン同様0.5円引き上げ、65.5円に販価を設定した。量販業者向けには65円での対応も進められたようだ。

広域系卸業者間でも応分の値上げが広がり、商社系ターミナルや丸中ターミナル中心に64円台の出物はほぼ一掃。65円や65.1円、65.3円などの売唱えが複数寄せられた。また、外販出荷が再開された旧米メジャー系ターミナルでも65.1円や65.4円、65.5円の出物が点在し、市況の一端を形成。先物2月限を意識した販価の設定も見受けられた。

その東商取中京ローリー2月限は前日比0.2円安の65円で日中取引を終えた。出来高は240kl。

津市内の小売り動向を見ると、一般セルフ店では77～80円、ホームセンターでは74円に店頭価格が設定されている。

## ○軽油

製油所出し課税玉は前日比0.75円高の61.2～61.8円、未課税玉も同0.45円高の61.7～62.7円、9号地も同0.05円高の61.8～62.5円。

製油所、9号地ともに底上げ。とくに課税玉の上げが大きく、未課税玉との価格差が再び縮まった。18日引取り分の製油所出し課税玉は、外資系元売り玉を取扱う広域系卸業者

から61.5～61.8円の売唱えが伝えられ、成約も表面化。62円台の提示した広域系からは「反応がいまひとつなので61.8円までの値下げを容認」などの声も伝えられた。一方、別の卸業者からは61.2円、61.4円、さらに民族系元売り玉をベースとする広域系からも61.8円の売りが広く寄せられた。

未課税玉では、特徴義務者向けに提示した売唱えをみると、民族系最大手元売り玉を取扱う広域系から62.7円が広く提示されたほか、外資系元売り玉ベースとする広域系から62.5円の複数が提示。一方、倉取り玉とは別に、届け玉として地場系小売業者にEX換算61円台前半まで対応する広域系も見受けられるなど、倉取り玉と届け玉で一線を画すところも見受けられた。

9号地は小幅高。大手タンク業者はガソリ

ンや灯油同様、前日から0.5円引き上げ、63円近くまで販価を切り上げた。ただ、向け先では62.5円での対応も進められたようだ。

課税玉を取扱う卸業者間では、商社系ターミナルや丸中ターミナルを中心に61.8円や62円、62.1円などの売唱えが複数提示され、市況をリード。旧米メジャー系ターミナルからも62.1円や62.2円で手当て可能な売り提示も広域系から伝えられた。

需給面では、石連がまとめた13日時点の在庫状況を見ると、三重県や愛知県を含む東日本は前年比2.9%増の92万4,778klとなった。12月上中旬は前年比で10%超積み上がり、余剰感も漂っていたが、足元ではある程度整理されたようだ。ただ、全体的なタイト感はまだない。

## ○重油

製油所出し LSA 重油は前日比 0.9 円高の 60.8～61.5 円、9 号地も同 0.35 円高の 60.9～61.8 円。

両センターともに底上げ。余剰玉が限られるとの声が多く、出し元の値上げが応分に反映された。

18日引取り分の製油所出しでは、外資系元売り玉をベースとする卸業者から 60.9 円や 61 円、61.1 円、61.4 円、61.5 円などの売唱えが広く寄せられ、実際の成約も散見。一方、価格改定前の民族系元売り玉を取扱う卸業者からは 60.8～61 円の提示が複数向けに打診され、市況をリードした。

愛知方面からも 61 円の売唱えが広域系から伝えられ、四日市玉と合わせて市況の一端を形成。先週から 9 号地で転送船の遅れから一部で出荷が停止したため、卸業者のなかには外販枠の消化が比較的進んだとの声も寄せられた。

9 号地も底上げ。大手タンク業者が白油同様に 0.5 円引き上げ、62 円台に販価を設定。旧米メジャー系ターミナルの出荷停止による代替出荷で一定在庫は取り崩されたようだ。別の広域系も振替出荷から手持ち枠は少なく、62 円に販価を置き様子見に退いた。実際のやり取りはほとんどなかったという。

別の卸業者間では、商社系ターミナルや丸中ターミナルを中心に旧米メジャー系ターミナル含め、60.9 円や 61.2 円、61.5 円、61.7 円、61.8 円などの売唱えが広く寄せられ、実際のやり取りも表面化。62 円台の売唱えに対しては買い手も慎重だったが、61 円台前半の売唱えに対して反応はまずまずと伝える市場参加者も見受けられた。

製油所出し A 重油は前日比 0.75 円高の 60.3～60.7 円、9 号地も同 0.3 円高の 60.4～61.2 円。

◎ 阪神

○ 概況

スポット市況は中間留分が上昇。JXTGエネルギー、昭和シェル石油が18～24日出荷分に適用する仕切り価格を引き上げた影響が大きい。ただ、ガソリンはもち合った。売り余力を残す業者が多く、取引水準が底上げされない。なお荷動きは全油種で精彩を欠く。前日までに生じていた仮需の反動とされている。

## ○ ガソリン

製油所出しが前日から横ばいの62.1～62.5円(揮発油税込み115.9～116.3円)、油槽所出しが同0.1円高の61.9～62.5円(揮発油税込み115.7～116.3円)。

スポット価格は製油所出しがもち合った。月間平均玉を中心に売り物を残すディーラーが多く、元売り各社の仕切り価格が引き上げられた中でも、スポット市場への影響は限定的となっている。仮需の反動で引合いが鈍化したことも値段を動きにくくした。

製油所出しでは中堅元売り玉など多様な仕入れを有する卸業者が18日対応分を115.9～116.1円で打ち出し、一定の注文を得た。四国の元売りルートでは116～116.3円で商談がまとまるケースがあったようだ。中堅元売り玉をベースに116.1円で打ち出したディーラーもいる。民族系元売り玉など複数の仕入れを有する卸業者は116.2円で見積もりを出した。

民族系元売り玉の取り扱い大手、旧米メジャー系元売り玉の取り扱い大手などは116.3円超で打ち出したものの、積極的にやりとりされた様子はない。四国の元売りとされるルートでは115.9円割れの玉も見え隠れするが、広がりには欠けていた。

油槽所出しは上昇。仕切り価格の引き上げを受けて、地合いがにわかに強まっている。ただ、製油所玉同様に余剰玉を抱えるディーラーが散見され、上げ幅は控えめだった。櫻島、堺ターミナル出しでは広域ディーラーの一角が先物玉などをベースに115.7～115.8円の販価を提示。同水準の売唱えは他にも複数の卸業者が提示している。大手タンク業者も値上げに動き116.3円で見積もりを出した。116.3円より高く売り唱えるディーラーもいるが、買い手の反応はほとんどなかった。

## ○ 灯油

製油所出しが前日から0.5円高の64.5～64.9円、油槽所出しが同0.6円高の64.7～65.0円。

スポット価格は上伸。民族系最大手元売り、外資系元売りらによる仕切り価格の引き上げが、相場を押し上げている。製油所出しでは民族系元売り玉をベースに販価を算出する卸業者が18日期限で64.5円の販価を提示。大手小売り業者向けなどで、一定の注文を集めた。64.5円の見積もりは民族系元売り玉を扱う別のディーラーも提示している。民族系最大手

元売り玉の取り扱い業者は64.5～64.7円で商談を進めた。このほか外資系元売り玉、四国の元売り玉などを担いだディーラー、中堅元売り玉を扱うディーラーはそれぞれ64.7～64.8円で打ち出している。民族系元売りルートでは64.8～64.9円の唱えも聞かれた。65円超の見積もりも出回っているが、民族系最大手元売りのインタンク向け基準価格と比較して割高感が否めないため、製油所出しについては買い手の関心外だった。

油槽所出しは櫻島、堺の両ターミナルとも複数の卸業者が64.7～64.8円の販価を提示。大手タンク業者は65円で小売り業者と取引を成立させている。需要期とあって販売店向けの引合いが強いという。

TOCOM 現物市場では17日、丸紅エネックス 堺玉10kl が1月中渡し条件65.5円で成約された。

### ○軽油

製油所出し課税玉が前日から0.2円高の60.7～61.5円、未課税玉が同0.5円高の62.0～62.4円、油槽所出しが同0.1円高の61.5～62.5円。

スポット価格は強含み。元売りの仕切り価格引き上げを受けて、値取りを優先するディーラーが増えた。ただ、課税玉については荷動きが振るわず、18日に仕切り価格の改定を行う民族系元売りルートで安値玉が残存したため、非課税玉と比較し上伸力に欠けていた。

製油所出しの課税玉市場では民族系元売り玉など多様な仕入れを有する卸業者が18日対応分を60.7円で据え置き、一定の注文を集めた。四国の元売りルートでは61～61.2円で売り唱えるディーラーがおり、こちらも相応のオーダーにつながっている。外資系元売り玉などをベースに販価を算出する卸業者は61.5円で取引をまとめた。中堅元売り玉など

複数ルートの玉を扱うディーラーも61円台半ばで打ち出している。外資系元売り玉の取り扱い大手、民族系元売り玉の取り扱い大手などは61.5円超で見積もりを出したが、活発にやりとりされた様子はない。

未課税玉市場では旧米メジャー系元売り玉などを扱う大手ディーラーが18日対応分を62円で打ち出している。外資系元売り玉をベースに販価を算出する卸業者は62円台前半の販価を提示。民族系最大手元売りルートでは62.4円の唱えが聞かれた。62.4円超で打ち出すディーラーもいるが、買い手の反応はいまひとつとなっている。

油槽所出しでは櫻島、堺ターミナル出しの課税玉、未課税玉が61.5～62.5円で取引可能になっている。これらの価格を上回る、または下回る売り込みも表面化した。広がりには欠けていた。

### ○重油

A重油は製油所出しが前日から0.45円高の60.2～60.5円、油槽所出しが同0.45円高の60.4～60.7円。LSA重油は製油所出しが同0.55円高の60.7～61.2円、油槽所出しが同0.55円高の60.9～61.4円。

スポット価格は強含み。白油同様、元売りによる仕切り価格の引き上げを映した。製油所出しのLSA重油は旧米メジャー系元売り玉などをベースに販価を算出する卸業者が18日対応分を60.7円で打ち出している。外資系元売り玉を60.8～60.9円で売り出し、注文

を集めた業者もいた。60.8円の唱えは民族系最大手元売りルートでも聞かれる。このほか旧米メジャー系元売り玉の取り扱い大手は61.2円の販価を提示。外資系元売り玉を扱うディーラーの中には同じく61.2円で打ち出し、取引をまとめたところもある。61.2円超の見積もりも出回っているが、積極的に取引された様子はない。一方、製油所出しのA重油は60.2～60.5円で調達可能になっている。LSA重油同様、安値圏では旧米メジャー系元売り玉などを扱う卸業者の見積もりが出回

っていた。60.5円超の売り物もあったが、荷

動きは精彩を欠いたようだ。

## ◎四国

### ○概況

スポット市況は全油種で上昇。JXTGエネルギー、昭和シェル石油らが18日以降出荷分に適用する仕切り価格を全油種で引き上げたことを織り込んだ。ただ、ガソリン、軽油は上伸力に欠けるとの指摘もある。1月渡し商談は正月休み、先高観を背景とした玉の温存により、今も外販枠を潤沢に残す卸業者がいるためだ。タンクローリーも2~3日先まで埋まっているので「倉取りの商談であれば、多少の値引きに応じる」（ディーラー）との声も聞かれた。

### ○ガソリン

前日比0.25円高の62.4~62.7円（揮発油税込み116.2~116.5円）。

スポット価格は上昇。民族系最大手元売り、外資系元売りによる仕切り価格の引き上げを反映した。坂出では民族系元売り玉を扱う複数の卸業者が18日期限で116.5円の販価を提示。116.5円の唱えは外資系元売りとされるルートでも厚みがあった。116.6円超で打

ち出すディーラーもいるが、広がりには欠けている。民族系元売りとされるルートでは115円台の売り物も残ったが、ここまで追従可能な売り手は限られていた。一方、菊間では116.2~116.3円の玉が見積もりベースで調達可能になっている。四国の中堅元売り玉のようだ。117円程度で打ち出す業者もいる。

### ○灯油

前日比0.7円高の64.5~64.8円。

スポット価格は強含み。民族系最大手元売り、外資系元売りの仕切り価格の引き上げを受けた。坂出では民族系元売り玉を扱う複数の卸業者が18日対応分を64.5円で打ち出している。同元売りルートでは64.8円の唱えも聞かれた。民族系最大手元売り玉を扱うディーラーは64.7~64.8円の販価を提示。同水準

の価格は外資系元売り玉をベースに販価を算出する卸業者も打ち出している。他社玉を担いで64.8円で売り唱えたディーラーもいる。64.8円超の見積もりも出回っているが、積極的に取引された様子はない。一方、64.8円の売り込みは菊間でもみられた。菊間では65円台前半の玉も散見される。

### ○軽油

前日比0.3円高の61.1~62.1円。

スポット価格は上伸。元売り各社の仕切り価格の引き上げが相場を押し上げている。坂出では外資系元売り玉を扱うディーラーが18日期限で61.1円の販価を提示。同元売りルートでは61.2円の唱えも聞かれた。61円割れの売り物も見え隠れするが、広がりには欠けている。未課税玉は民族系元売りルートで62

円から手当て可能になっているが、課税玉との値差を考慮すると、買い妙味があるのは62.1円までという。一方、菊間では未課税玉が62円から調達可能になっている。

インタンク市況は愛媛県、香川県の運送会社向けがいずれも届け93円台半ばでやりとりされているという。香川県の場合、安値圏では民族系元売りルートの玉が出回ってい

るという。

### ○重油

A重油は前日比0.75円高の60.2～60.5円、LSA重油は同0.8円高の60.7～61.2円

スポット価格は上昇。元売りによる仕切り価格の引き上げが材料視されている。坂出のA重油は民族系最大手元売り玉を扱うディーラーが18日期限で60.2円の販価を提示。同元売り玉を扱う別のディーラーは60.5円で広く打ち出している。外資系元売り、民族系元売りとされる両ルートではいずれも60円台

前半の唱えが聞かれた。一方、LSA重油はA重油比0.6円程度上ざやの60.7～61.2円で手当てが可能。A重油、LSA重油ともこれらの価格帯に当てはまらない見積もりも出回っているが、積極的に取引された様子はない。

菊間ではA重油が60円～60円台後半、LSA重油が61円～61円台前半で調達可能になっている。

### ◎九州

#### ○概況

スポット市況は全油種が切り上がった。JXTGエネルギーなど元売り大手3社の仕切り価格引き上げを受けて、唱えを上方修正する業者が多かった。ただ、ガソリンや軽油は月の残り営業日数が半分を切る中でも、枠消化が振るわないとあって唱えを据え置く業者もいた。一方、灯油は堅調との見方を示す市場参加者が多く、相場は大きく切り上がった。

JXTGエネルギー、出光興産、昭和シェル石油の大手元売り3社は、18日以降出荷分に適用する仕切り価格を引き上げると通知した。JXTGエネルギー、出光興産の大手元売り2社は全油種で0.5円の引き上げを通知したが、昭和シェル石油はガソリンで0.5円、中間三品で1円の引き上げを通知した。

### ○ガソリン

前日比0.45円高の63.0～63.2円(揮発油税込み116.8～117.0円)。

スポット市況は小幅高。元売りの仕切り価格引き上げを受けて、唱えを上方修正する業者が多かった。ただ、月次枠の消化を意識する売り手の中には、売値を据え置いて買い気を喚起しようとするケースもある。また、この日の原油およびTOCOM先物市況が切り下がったことを弱材料として意識する業者もいた。

外資系元売り玉をベースに価格を算出す

複数の広域ディーラーは、見積もりベースで116.8～117円を提示した。一方、油槽玉を扱う商社や大手広域ディーラーからであれば、116.9～117円が調達可能となっている。中には117円台前半まで値上げする業者もいたが、117円を上回る売り物は買い手にとって割高に映り、手当ての対象となりにくい。

市場参加者の情報によると、小売り業者やSS業者向けの届け取引ではEXパイプ換算で116.3～116.4円の売り込みも一部残存しているという。

### ○灯油

前日比0.7円高の65.7～66.2円。

スポット市況は上昇している。元売りの仕

切り価格切り上げを受けて、唱えを上方修正する業者が散見された。また、気象庁は15日

に低温に関する異常天候早期警戒情報を発表しており、22日以降、九州地方各地の平均気温は、平年比で2.4度以上低く推移する見通しだ。寒波の到来を控え、足元での売りを手控える市場参加者もいるようだ。

外資系元売り玉を扱う広域ディーラーは、見積もりで65.9円を提示。また、同元売り玉をベースに価格を算出する複数の広域ディーラーからも、66～66.2円、66.4円が提示された。一方、油槽玉をベースに価格を算出する複数の商社および広域ディーラーは、66.4円を見積もりで提示している。この中、買い

気を探ろうと、65.7～65.8円を打ち出すケースもあった。66.2円までが見積もりベースで手当て可能なため、同価格帯を上回る玉は買付けの対象となりにくい。

届け取引市場のEXパイプ換算では、65円台半ば～後半の売り物もあるという。調達量の多い地場有力ディーラーなどに提示されているもよう。

TOCOM現物市場では、小倉出しで100kl、65.7円の売唱えが提示された。受渡期間は1月中となっているものの、明確な日付の記述はなかった。

## ○軽油

前日比0.4高の62.5～62.8円。

スポット市況は上昇。元売りの仕切り価格引き上げを受けて、売唱えを上方修正する卸業者が多い。ただし、他の油種と比較して悴消化の進捗が遅れているとの声もあり、唱えの小幅な値上げ、または据え置きとして消化を図る動きもあった。

課税玉では、四国の中堅元売り玉や民族系元売り玉が62.5～62.7円で調達可能。これらの玉をベースに62.7～62.8円を打ち出す業者もいた。一方、前日まで62円程度～62円台前半を提示していた業者の中には、63円台前半まで値上げする動きもあった。63.2～63.4円といった

売り物もあるが、同価格帯は割高で調達の対象となりにくい。届け取引市場では、EXパイプ換算で61円台半ばの玉も残存しているとの声もあり、スポット市況の上伸を妨げる要因となっているもよう。

未課税玉では、外資系元売り玉などをベースに価格を算出する売り手が63.2～63.5円を提示。ただ、市場参加者の中には「63円超えの玉は成約に結び付かないことが多い」（広域ディーラー）と指摘する向きもいる。このため、62.7～62.8円まで唱えを下方修正して買い気を探る動きもあった。

## ○重油

A重油は前日比0.65円高の61.2～62.1円、LSA重油は前日比0.45円高の61.7～62.6円といずれも上昇。

スポット市況は切り上がった。ほとんどの業者が売値を上方修正しており、相場は切り上がった。A重油では、外資系元売り玉をベースに価格を算出する売り手が62円台まで売値を引き上げた。見積もりベースでは

61.9～62.1円が提示された。一方、民族系の元売り玉を扱う売り手からであれば、61.2～61.6円といった売り物も提示されている。LSA重油の相場はA重油と比較して0.5～0.7円程度の上ザヤを形成している。61.7～62.6円が複数の市場参加者から提示された。

産燃向けでは、宮崎県の繊維工場向け2月納めのLSA重油が届け64円で妥結したようだ。

**◎国内ローリーラック(陸上)JOF・OTC・T-WINDOW成約**

JOF成約は午後2時～2時30分に限定

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
ガソリン	[2] TG 川崎 EMG/TG 川崎キグナス	T-WINDOW	20	63,200	1月中
ガソリン	[2] TG 川崎 EMG/TG 川崎キグナス	T-WINDOW	20	63,200	1月中
灯油	丸紅エネックス堺	T-WINDOW	10	65,500	1月中

**◎マーケットニュース**
**○JXTGエネ=18日以降の基準価格、全油種で引き上げ**

JXTGエネルギーは17日、18～24日出荷分に適用する基準価格を全油種で0.5円引き上げると通知した。複数の特約店が明らかにした。

**○出光興産=18日以降の系列仕切り価格は全油種引き上げ、2週続けて**

出光興産は18日以降の出荷分に適用する系列向け仕切り価格について、全油種を現行から0.5円引き上げると通知した。複数の市場関係者が明らかにした。

**○昭和シェル石油=18日からの系列向け卸価格、ガソリンは0.5円の上げ**

昭和シェル石油は17日、18日以降の出荷分に適用する仕切り価格を通知した。複数の関係者によると、ガソリンは0.5円、中間品は1.0円の値上げだったもよう。

前週11日以降は、全油種で2円の引き上げだった。

**○週間SS市況調査=レギュラーガソリン、143円台に上昇**

資源エネルギー庁が17日に公表した給油所の週間市況調査によると、15日時点の全国平均価格は、レギュラーガソリンが前週から1.3円高の143.2円と原油高を背景に、4週連続して値上がりとなった。ハイオクガソリンは、前週比1.4円高の154円となった。

都道府県別の動向として、レギュラーガソリンの値上がりは45都道府県。横ばいは1県、値下がりには長崎県の1県だけ。沖縄県を除く都道府県別のレギュラーの最安値は、埼玉県(前週比1.0円高)の138.1円。対する最高値は鹿児島県(同0.9円高)の149.7円だった。

軽油は121.2円で前週比1.4円高となり、17週連続の値上がり。灯油は86.2円で前週から1.5円高(18リットルあたり1,551円)でこちらも17週連続の値上がりとなった。

**都道府県別・石油製品市況週動向査=2018/1/15**

	ハイオク		レギュラー		軽油		灯油(店頭)	
	円/ℓ	前週比	円/ℓ	前週比	円/ℓ	前週比	円/18ℓ	前週比
北海道局	154.2	+1.4	143.9	+1.5	125.9	+1.5	1,572	+18
青森	154.7	+3.3	143.7	+3.3	123.8	+3.8	1,506	+48
岩手	150.9	+1.3	140.1	+1.4	117.8	+1.4	1,457	+32
宮城	150.7	+1.3	140.1	+1.3	118.6	+1.2	1,463	+43
秋田	152.3	+1.6	141.4	+1.7	120.8	+1.2	1,485	+32
山形	155.1	+2.1	143.9	+1.9	122.6	+2.1	1,492	+41
福島	154.9	+1.5	143.9	+1.5	122.4	+1.7	1,496	+24
東北局	153.0	+1.8	142.1	+1.8	120.8	+1.8	1,482	+36
茨城	151.3	+0.5	140.3	+0.4	113.7	+0.3	1,482	+15

関東局	木	153.7	+2.7	142.7	+2.8	119.6	+2.7	1,563	+54
	馬	154.4	+2.7	143.2	+2.6	119.6	+2.7	1,555	+48
	玉	148.9	+1.0	138.1	+1.0	113.5	+1.2	1,503	+22
	葉	150.3	+1.9	139.6	+1.8	116.2	+2.1	1,528	+31
	京	153.7	+0.9	143.4	+0.9	122.6	+0.8	1,689	+15
	奈川	150.8	+0.3	139.9	+0.4	116.8	+0.5	1,567	+15
	潟	152.6	+1.0	141.6	+1.0	121.8	+1.0	1,561	+23
	野	157.2	+2.3	145.7	+2.2	124.6	+2.3	1,539	+41
	梨	154.5	+1.7	143.2	+1.7	117.6	+1.9	1,532	+32
	岡	154.4	+1.6	143.1	+1.5	122.4	+1.4	1,597	+32
中部局	知	152.8	+1.5	141.8	+1.4	119.0	+1.5	1,558	+29
	阜	153.0	+1.7	142.1	+1.7	122.8	+1.7	1,551	+20
	重	156.5	+2.0	145.3	+2.0	124.3	+2.0	1,533	+37
	山	154.5	+1.9	143.1	+1.9	124.1	+2.0	1,548	+27
	川	154.9	+2.0	143.9	+2.1	124.4	+1.8	1,607	+42
	石	154.3	+0.3	143.6	+0.3	120.2	+0.5	1,532	+23
	井	154.6	+1.6	143.6	+1.7	123.3	+1.7	1,552	+29
	賀	155.1	+1.3	143.6	+1.2	121.9	+1.6	1,571	+27
	都	152.4	+0.2	142.0	+0.1	116.4	+0.2	1,540	+3
	良	156.5	+0.8	145.6	+0.7	123.2	+0.8	1,605	+11
近畿局	阪	153.5	+1.9	142.6	+1.8	119.8	+2.1	1,509	+37
	大	154.3	+1.8	143.5	+1.7	119.6	+1.8	1,517	+22
	庫	152.4	+0.3	141.6	+0.3	117.3	+0.3	1,499	+14
	山	154.4	+2.7	144.1	+2.6	118.1	+2.1	1,527	+25
	取	154.0	+1.2	143.3	+1.2	119.4	+1.2	1,537	+19
	根	150.9	+0.8	139.8	+0.8	121.4	+0.8	1,560	+27
	山	155.8	+1.0	144.7	+0.8	125.1	+0.9	1,621	+21
	島	149.4	+0.5	138.8	+0.5	117.9	+0.5	1,479	+26
	島	153.2	+1.5	142.1	+1.4	122.0	+1.5	1,548	+31
	口	154.6	+1.3	143.6	+1.3	121.4	+1.5	1,546	+29
中国局	島	152.9	+1.1	142.0	+1.0	121.7	+1.0	1,554	+27
	川	152.2	+1.4	141.6	+1.4	115.3	+0.9	1,504	+23
	媛	154.6	+2.9	143.8	+2.9	117.9	+2.2	1,490	+35
	高	154.5	+1.6	143.5	+1.4	122.2	+1.7	1,552	+24
	知	154.3	0.0	144.2	0.0	124.1	0.0	1,542	+2
	岡	153.9	+1.4	143.2	+1.3	119.9	+1.2	1,523	+21
	賀	154.3	+1.4	143.2	+1.3	117.8	+1.8	1,516	+27
	崎	156.2	+1.2	145.2	+0.9	124.0	+1.2	1,596	+33
	本	158.7	-0.3	148.5	-0.4	130.2	-0.4	1,625	+3
	分	155.5	+1.7	145.0	+1.8	119.2	+1.6	1,539	+40
四国局	大	156.4	+0.3	145.7	+0.4	121.9	+0.6	1,556	+8
	宮	155.1	+1.4	144.3	+1.3	121.6	+1.3	1,602	+29
	崎	159.0	+1.1	149.7	+0.9	128.1	+1.2	1,691	+19
	鹿	156.5	+1.0	146.1	+1.0	123.4	+1.1	1,593	+23
	児	161.2	+1.4	151.3	+1.6	130.9	+1.4	1,885	+42
	島	157.0	+1.0	146.7	+1.0	124.4	+1.2	1,618	+25
	九州局	154.0	+1.4	143.2	+1.3	121.2	+1.4	1,551	+26
	沖								
	縄								
	局								
九州沖縄局									
全国平均									

出所:資源エネルギー庁、調査対象は約2,000店。

ガソリン、軽油は円/ℓ、灯油は店頭18ℓ。現金ベース。

○原油・石油製品供給統計週報＝＜石油連盟全国＞			
	今週	前週	前週比
	1/7～1/13	12/31～1/6	
<b>製油所稼働状況</b>			
週間原油処理量 (kl)	3,827,405	3,826,579	+826
週間トッパー実稼働能力 (b/d)	3,518,800	3,518,800	+0
週間トッパー実稼働率	97.7%	97.7%	+0.0
週間トッパー設計能力 (b/d)	3,518,800	3,518,800	+0
週間トッパー設計能力稼働率	97.7%	97.7%	+0.0
<b>石油製品週末在庫</b>			
ガソリン	1,818,753	1,642,408	+176,345
ナフサ	1,218,073	1,347,118	-129,045
ジェット燃料油	970,803	968,554	+2,249
灯油	2,008,565	2,093,308	-84,743
軽油	1,742,520	1,685,563	+56,957
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	251,979	266,829	-14,850
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	461,038	473,392	-12,354
A 重油計	713,017	740,221	-27,204
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	689,484	654,173	+35,311
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	1,307,839	1,281,297	+26,542
C 重油計	1,997,323	1,935,470	+61,853
合計	10,469,054	10,412,642	+56,412
<b>原油・半製品・装置原料週末在庫</b>			
原油	12,484,458	12,373,149	+111,309
粗ガソリン	2,401,156	2,393,363	+7,793
粗灯油	560,696	562,137	-1,441
粗軽油	857,948	819,283	+38,665
粗 A 重油	558,752	542,745	+16,007
装置原料	2,886,152	2,879,692	+6,460
合計	7,264,704	7,197,220	+67,484
<b>石油製品生産量</b>			
ガソリン	1,051,259	988,148	+63,111
ナフサ	337,297	291,027	+46,270
ジェット燃料油	195,101	221,518	-26,417
灯油	487,797	496,634	-8,837
軽油	810,136	696,321	+113,815
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	134,090	107,942	+26,148
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	141,444	129,292	+12,152
A 重油計	275,534	237,234	+38,300
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	40,341	43,336	-2,995
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	261,399	238,105	+23,294
C 重油計	301,740	281,441	+20,299
合計	3,458,864	3,212,323	+246,541
<b>石油製品輸入量</b>			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	n. a.	n. a.	-

A 重油計	n. a.	n. a.	-
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	57,788	4,678	+53,110
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	0	0	+0
C 重油計	57,788	4,678	+53,110
合計	n. a.	n. a.	-
<b>石油製品輸出力</b>			
ガソリン	59,507	33	+59,474
ナフサ	0	0	+0
ジェット燃料油	131,364	97,483	+33,881
灯油	48,844	0	+48,844
軽油	194,332	146,087	+48,245
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	32	324	-292
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	14,698	14,642	+56
A 重油計	14,730	14,966	-236
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	5,104	5,069	+35
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	75,504	43,056	+32,448
C 重油計	80,608	48,125	+32,483
合計	529,385	306,694	+222,691
単位: kl			

「n. a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

◇弊社ウェブサイトURLは [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧 [東京本社]

Tel: 03-3552-2411, Fax: 03-3552-2415

e-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局]

Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail: [hagimoto@rim-intelligence.co.jp](mailto:hagimoto@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社]

Tel: (86)10-6498-0455, Fax: (86)10-6428-1725

e-mail: [guanhong@rimbj.com](mailto:guanhong@rimbj.com)

[インド支局]

Tel: (91)-98795-50717, e-mail: [kamlesh@rim-intelligence.co.jp](mailto:kamlesh@rim-intelligence.co.jp)

[上海支社]

Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: [rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2018 RIM INTELLIGENCE CO.